

新年のごあいさつ

清須市長 加藤 静治



明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成28年の清々しい新春をお迎えることと、お慶び申し上げます。また、日頃は市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

昨年は、清須市が誕生いたしましたから10年を迎えることができました。

これまでを振り返りますと、リーマンショックに端を発した世界同時不況の影響などを受け、非常に厳しい状況の中での行政運営となりました。そうした中でも、総合的な防災・治水対策の推進を始め、子育て支援や高齢者・障害者支援の充実、市立図書館のオープンなどのインフラ整備と様々な角度からまちづくりに努めてまいりました。

しかしながら、本市には、まだまだ多くの課題が山積しております。合併時からの懸案事項でありました本庁舎の増築工事につきましては、現在、平成29年1月の供用開始を目指し、順調に進めております。これにより、今までご不便をおかけしておりましたが、福祉部門・建設部門も本庁舎へ集約し、一体で事業を行うことができるようになることと共に、地震災害などの危機管理機能が整った庁舎となります。

また、下水道の整備につきましては、着々と計画区域を広げ、順調に供用を開始しており、今後も流域全体に整備を進めてまいります。新清洲駅前周辺整備につきましても、今後、名鉄名古屋本線高架化事業と併せて、土地区画整理事業を積極的に推進してまいります。また、昨年9月に設立されました清洲駅前土地区画整理事業と、既に事業が推進されております春日学校橋西及び春日新橋西土地区画整理事業につきましても積極的に支援してまいります。

更に、昨年は、東海豪雨から15年の節目を迎えた年でもありました。昨年9月の関東・東北地方に甚大な被害をもたらした豪雨は記憶に新しいところです。また、将来発生が予想されている「南海トラフ巨大地震」などの災害に備え、更なる防災力の強化が求められています。このため、排水ポンプ場の長寿命化を始め都市下水路整備などの総合的な治水対策、更には、義務教育施設を始め公共施設の長寿命化に鋭意、取り組んでまいります。

さて、昨今の経済状況に目を向けますと、消費税増税が平成29年4月に延期されましたが、問題なのは、ようやく景気が上向いてきた日本経済が失速しないか、依然として先行きが不透明なところであります。一方では、国において、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の「新3本の矢」の実現を目的とする「1億総活躍社会」に向けたプランの策定等が進められております。このような状況の中で、清須市としましても、今後ますます進むと思われる少子高齢化や将来の人口減少に対しまして、これまで10年間に築き上げてきました清須市の基盤づくりへの歩みを止めることなく、更に、未来に向かって着実に前進させていくことが重要であると考えております。

これまでと同様、絆を大切にすまちづくりを継続し、市民の皆様と力を合わせ、「安全・安心、そして快適で元気な清須」の実現に向け、本年を希望に満ちた未来につながる新たなスタートの年にしたいと思います。

最後になりますが、市民の皆様の今年1年のご多幸とご健康を心から祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

新年のごあいさつ

清須市議会議員 久野 茂



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成28年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

平素より、市議会活動並びに市政運営に対しまして、温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

新年にあたり、議会の責務を遂行するために22名の議員の総力を結集し清須市の更なる発展を願い、新市建設計画の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適な環境都市」の実現を目指し邁進する覚悟でございます。

昨年は早いもので、清須市が誕生して10年という大きな節目の年を迎えました。この間、市民の皆様に住んでよかったと満足していただける快適なまちづくりの実現のため、図書館の開設、新給食センターの建設、市の中央部を縦断する地域内幹線道路の整備、公共下水道の供用開始、また各地区における区画整理事業の開始など、総合計画の基本構想に基づき、着々と前進をまいりました。

しかしながら市政運営の課題は多く、昨今頻発しておりますゲリラ豪雨と称される集中豪雨や近い将来発生が予想されております「南海トラフ巨大地震」などの災害に備え、庄内川・新川・五条川の3つの河川に挟まれている清須市においては、更なる防災力の強化を図っていかねばなりません。また、少子化、高齢化は急速に進行しており、育児、介護への支援加速を含めて、これらの課題への対応にも積極的に取り組まねばなりません。

これからは、地方の時代といわれております。経済は緩やかな回復基調といわれますが、行政運営の厳しい状況に変わりはありません。このような状況の中、国においては「1億総活躍社会」実現への取り組みや目標を示す「新3本の矢」として、①希望を生み出す強い経済②夢をつむぐ子育て支援③安心につながる社会保障の3項目が打ち出されました。これらの施策を清須市としていかに取り入れて、限られた貴重な財源をどのような施策に充てるべきか、市議会といたしましても議員一人ひとりの責務を全うし、議会の場で議論を尽くし、将来の清須市のあるべき姿をしっかりと見定めて市政に提言していくことが、私たち議員の重要な使命であると考えております。時には厳しい意見、討論を交わしながら、市と一体となって進めるべきものについては、議員一丸となって市と協力して積極的に進めていくとともに、監視役としての役割も果たしてまいります。

私たち議員は、これからも市民の皆様方の声に耳を傾け、社会の変化に伴い複雑・多様化する行政需要を的確に把握するとともに連携を一層密にし、その声を市政に反映させ、市民福祉の充実と「安全・安心、そして元気な清須」に誠心誠意取り組んでまいります。また、議会の情報を的確にお伝えし、議会の公開性・透明性を高め開かれた議会を目指してまいります。

本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。

昨年は、リニア中央新幹線、燃料電池自動車FCV、ジェット旅客機MRJという、日本の未来を創るプロジェクトが大きく動き出した年でした。

日本の中心に位置する愛知県は、日本一のTechnology(技術)とTradition(伝統)を誇る我が国の産業の中心地、まさに“Heart” of JAPANです。今年は、この愛知の強みをさらに進化させる年になりたいと思います。

※2027年度のリニア開業を前に、鉄道・道路などの社会基盤を着実に整備し、「中京大都市圏」づくりを進めるとともに、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、更には農林水産業の振興などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

また、そのための「人財力」を強化するため、モノづくり人材の育成、女性の活躍促進、高齢者や障害のある方々への支援の充実など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

更には、福祉・医療、防災、環境、スポーツ、東三河地域の振興などにも力を注ぐほか、5月の伊勢志摩サミットなど様々な機会を捉え愛知の魅力を国内外に積極的にPRしてまいります。

そして、今年は、あいちトリエンナーレ、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭と続く「芸術・アートの年」です。多様な魅力あふれる文化芸術作品をお楽しみください。

引き続き、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

愛知県西枇杷島警察署長 青山 明彦



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から警察行政の各般にわたり、ご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、西枇杷島警察署では、昨年、「2市1町の安心・安全」を目標に掲げ、地域の皆様が安心して暮らせるよう、各種警察活動を推進してまいりました。

そして、各自治体をはじめ地域の皆様、各種団体等による犯罪抑止活動、交通安全活動、非行防止活動など大きな力を得て、目標に向け大きく前進することができた1年でありました。

今年も昨年に引き続き、「2市1町の安心・安全」を目標に掲げ、犯罪の抑止、交通死亡事故の抑止、青少年の非行防止、災害警備など各種警察活動を推進してまいりますので、皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。